

AI時代の “成果創出人材”

を定義する新職種・新資格制度

FDE検定制度

(Forward Deployed Engineer Certification Framework)

2026年夏
正式リリース予定

主催：IoT検定制度委員会
FDE検定プロジェクト

「検定・認定・認証」三層評価モデル



AIを使える人ではなく、AIエージェントで成果を出せる人を証明する。



企業のメリット

- AI活用を推進できる人材の可視化
- 育成方針・人材配置の最適化
- 新しい価値創出・競争力の向上



人材のメリット

- AI時代に求められるスキルを証明
- キャリアの幅・市場価値が向上
- 実践力を評価される新しい選択肢



社会のメリット

- AI活用による生産性の向上
- DX推進・イノベーションの加速
- 持続可能な社会の実現に貢献

名称	FDE検定制度 (Forward Deployed Engineer Certification Framework)
対象	ビジネスパーソン全般 (エンジニア、コンサルタント、企画職、営業職、 マネジメント層など)
レベル	レベル1 合格アソシエイト (FDE-A) レベル2 認定プロフェッショナル (FDE-P) レベル3 認証コンサルタント (FDE-C)
実施形式	オンライン受験方式(L1)・実績認定 (L2)・成果認証 (L3)

特徴

- AIエージェント活用に特化した実践的な評価制度
- 知識・実践・成果の三層で総合的に評価
- 個人の強みを可視化し、キャリア形成を支援
- 企業・組織のAX/DX人材戦略を強力にサポート

今後の展望

- FDE検定制度は、AI時代において成果を創出できる人材の可視化を通じて、企業・組織・社会のDX推進に貢献します。
- 制度設計・試験開発を進め、2026年夏に正式リリース予定です。



FDE検定レベル1 試験
アソシエイト（Associate） 詳細

FDE

理解する
知識を身につける

説明できる
人にわかりやすく伝える

判断できる
適切に見極め、考えを示す

1 FDE検定レベル1とは

FDE検定レベル1（Associate）は、生成AI・AIエージェント時代において、現場・経営・技術をつなぎ、業務をAI前提で捉え直し、変革の必要性和方向性を関係者へ説明できる人材を認定する資格です。

FDE検定レベル1は、AIを利用するスキルそのものを評価する資格ではありません。

AI時代において、現場・経営・技術をつなぐ視点を持ち、変革の必要性を理解し、関係者と共通認識を形成できる「変革推進人材」の基礎レベルを認定する資格です。



3 出題範囲とスキル標準（レベル1）

カテゴリ	理解する	説明できる	判断できる
①FDE概論	FDEの役割や価値を理解する	使命や特徴、価値を説明できる	FDEとしての基本的な心構えを判断できる
②AI・LLM基礎	生成AI、LLMの仕組みや特徴を理解する	得意分野・限界・活用方法を説明できる	業務に適したAIサービスを判断できる
③ 業務理解	業務プロセスや課題を理解する	課題・ボトルネック・暗黙知を説明できる	AI活用の優先領域を判断できる
④ コミュニケーション	ヒアリングや情報整理の基本を理解する	相手の課題や意図を構造的に説明できる	必要な情報を見極めて整理できる
⑤ 変革マインド	マインドセットの重要性を理解する	変革の必要性や姿勢を説明できる	変化を受け入れ学び続ける判断ができる
⑥ 教育・指導力	説明や対話・育成の考え方を理解する	相手に応じた伝え方を説明できる	効果的な支援方法を判断できる
⑦ AI前提思考	AI前提で業務を捉える考え方を理解する	人とAIの役割分担を説明できる	どの業務にAIを適用すべきか判断できる
⑧ データ理解	データの種類や流れを理解する	データと業務システムの関係性を説明できる	AI活用に必要なデータを判断できる
⑨ AIエージェント理解	AIエージェントの基本を理解する	種類や機能、活用可能性を説明できる	業務への影響や活用方向性を判断できる
⑩倫理・セキュリティ	リスクやルールを理解する	倫理・法令・セキュリティを説明できる	安全・適切な利用方法を判断できる

4 レベル到達目標

理解する

- AI時代の変化
- FDEの役割
- AIエージェント活用

説明できる

- 業務課題
- AI活用の方向性
- 期待効果

判断できる

- AI適用領域
- 必要なデータ
- リスクと留意点

5 資格概要

正式名称	FDE検定アソシエイト（Associate）
略称	FDE-A
対象者	・DX推進担当者・業務改善担当者 ・コンサルタント・営業職・管理職 ・IT技術者・AI活用推進担当者
試験方式	コンピュータを使った試験方式
資格証明	合格証（予定）

6 今後の予定

2026年夏 正式リリース予定